

ウッドデザイン賞運営事務局

(特)活木活木森ネットワーク、(公社)国土緑化推進機構
(株)ユニバーサルデザイン総合研究所

<http://www.wooddesign.jp/>

『ウッドデザイン賞 2016』

農林水産大臣賞・林野庁長官賞・審査委員長賞 25 作品が決定！

～木製コンセプトカー SETSUNA など、新たな木づかひの先進例が上位賞を受賞～



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2016

「ウッドデザイン賞 2016」の農林水産大臣賞(最優秀賞)1点、林野庁長官賞(優秀賞)9点、審査委員長賞(奨励賞)15点が決定しました。

農林水産大臣賞(最優秀賞)は、「歳月を経て変わることを愛でる」を木を用いて具現化し多様な樹種と日本古来の伝統技法などを取り入れたコンセプトカー「SETSUNA」(トヨタ自動車株式会社)が受賞しました。

この最優秀賞をはじめ、世界に誇る日本の技術力を生かしたり、世界の観光客を「木の温もりでおもてなし」するなどの新用途の木材利用の先進例が入選しています。

上位賞受賞表彰式を、本日 13 時 30 分から東京ビッグサイト東 2 ホール「エコプロ 2016 イベントステージ」で行います。また 15 時からは「東京ビッグサイト」レセプションホール B(会議棟1階)で、最優秀賞受賞団体など4作品のプレゼンテーションと赤池学審査委員長をはじめとした審査委員が登壇する「シンポジウム」を開催、その後上位賞受賞作品の展示や受賞者との交流会も行います。

さらに、同日から 10 日にかけて「東京ビッグサイト」東展示場で開催される、エコプロ 2016「森林(もり)からはじまるエコライフ展」内に設置された「『ウッドデザイン賞』特設ブース」(東 1 ホール)では、上位賞受賞作品とともに、入賞作品 251 点をパネル等で展示、各審査委員からの動画メッセージの上映を行います。さらに一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会(icon)の協力による、受賞作品をコーディネートした「ライフスタイル提案ゾーン」も新たに設けます。

詳細はウッドデザイン賞公式ウェブサイト(<http://www.wooddesign.jp>)をご覧ください。

また、ウッドデザイン賞 Facebook ページが開設されました。@wooddesignaward

赤池審査委員長始め、隈研吾氏、益田文和氏など審査員のメッセージ、受賞作品のストーリーなど順次、掲載します。

※ 農林水産大臣賞(最優秀賞)、林野庁長官賞(優秀賞)、審査委員長賞(奨励賞)作品は次ページからのとおりです。

※ 「ウッドデザイン賞 2016」の概要については、別添の通りです。

本件に関するお問い合わせ先

ウッドデザイン賞運営事務局 (担当:高橋)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-21 葺手第 2 ビル 8 階

ユニバーサルデザイン総合研究所内

TEL: 03-5733-9375 FAX:03-5733-9376 E-mail: press2016@wooddesign.jp

携帯 080-4459-3902

最優秀賞（農林水産大臣賞）

() 内の「都道府県」は建築物などの所在地、活動が実施された地域で、一般に流通しているもの・特に該当しないものは主な受賞団体所在地です。



🌐 コンセプトカー SETSUNA (愛知)

トヨタ自動車(株)

技術・研究分野

「SETSUNA」のコンセプトである「歳月を経て変わることを愛する」を木を用いて具現化したものである。木は手を掛けたいわゆることで色や風合いが変わり、愛情を注ぎ幾世代も受け継ぐことで、その家族だけのクルマへと変化する。コンセプトの表現として、外板は杉、フレームには樺といった用途に応じた木材の選定をし、一つ一つのパーツの大小や配列にもこだわった。組み付け構造には釘やネジを使用しない日本古来の伝統技法である送り蟻などを取り入れ、ボディラインは船のような美しいカーブを描く。さらに、世代を超えて時を刻む100年メーターや、機能美と木の優しい色合いが融合したシートなど、歳月を経て輝きを増す。自動車づくりの専門性と木材利用の専門性が協働した優れたプロジェクトであり、多様な業種、分野において、消費者目線で木材を積極的に活用するという明確な目的を満たしており、ウッドデザイン賞の主旨に最もふさわしい。こうした先導的な役割を担う取組が、医療・福祉機器をはじめとする他の業種・業態へ木材利用を波及させるための模範例となりうる。

優秀賞（林野庁長官賞）



🏠 **Jパネル**（鳥取）

協同組合レングス

建材・部材分野

「よりよい環境と健全な森を取り戻したい。地震にも台風にも火災にも強い家がいい。木の良さはそのままに性能や品質も求めたい」との思いから生まれた。国産材のスギ・ヒノキを100%原料とした直交集成板で薄型のCLTでは唯一の先駆的モデルである。寸法安定性、蓄熱や調湿性に優れ、用途は木造軸組工法における床・天井・壁・軒裏などの仕上げ材を兼ねた構造用面材や造付け家具など幅広く、地域材の利用拡大に貢献している。



🏠 **耐震補強技術 T-FoRest**
（大阪）

株竹中工務店

技術・研究分野

CLT、集成材、LVL等のエンジニアリングウッドの高強度性や加工性、軽量可搬性を活かし、RC造等の大規模建築物の耐震補強を行う木質系耐震補強システム。CLT・LVLは接着剤、集成材プレスはバネの力を利用して固定し、振動や騒音がほとんど工期短縮もできる。木造を木で補強する事例は多数存在するが、RC造建築物を木で補強する例は新規性があり、機能性重視に偏りがちな技術ながらデザイン的にもよくまとまっている。国土強靱化と木材利用を両立させた良質な取組である。



🏠 **Roll Press Wood**（山形）

株天童木工

技術・研究分野

軟質がゆえ、家具用材としては不向きとされてきた杉などの針葉樹を、独自開発のロールプレス工法で強度を高めた単板へと変え、その単板を重ね合わせて型で曲げて成形し自由な曲線を持つ丈夫な部材を作る、世界初の技術である。ローラーで連続的に圧密する工法のため、熱を加える時間が短く自然な色を残せるほか、連続作業によって大量圧密化が可能となった。日本各地の軟質針葉樹に優れた機能を付加する技術であり、木材の耐久性、耐候性を高める素材開発方法として新規性が高く、デザインの、機能的な用途拡大に貢献している。



♥ **日本橋とやま館「富山らしさを表現する木づかい」**（東京）

富山県、株乃村工藝社

建築・空間分野

富山県のアンテナショップであり、産地に眠っていた原木、製材品、加工品などさまざまな工程段階の木材を現地で選定、調達しデザインしている。巨大な立山連峰をイメージした木格子壁はインパクトがあり、ナラ虫食い材の利用やクリ・ナラなどの異種材の幅はぎ材をテーブル天板に使うなど素材と加工のバリエーションで木材利用の可能性を引き出している。地域の魅力発信と地域材の利活用が高次元に融合した空間として、富山の木から富山の価値を生み出すプロセスを通じて地域に貢献するという強い責任感と愛着を生みだしている。



♥ **新柏クリニック**（千葉）

医療法人社団中郷会 新柏クリニック、株竹中工務店

建築・空間分野

透析治療を行う方々の負担感を軽減し、心身の健康につながる最良の医療施設を目指し、木の癒し効果に着目した「森林浴のできるクリニック」づくりに取り組んだ。本物の国産木材の利用にこだわり、新しい防耐火技術の導入により都市部において木造・木質化された医療施設を実現した。人間の心身に好影響を及ぼす木は、本来、医療施設に使われることが理想的だが、衛生面やメンテナンス面、コスト面で敬遠されてきた。こうした分野での木造建築は大きな意義がある。屋外の眺望と一体化した、美しい木質空間は患者の心に安らぎを与えてくれる。



♥ **産学官連携「病院木質化プロジェクト」**（北海道）

株ハルキ、札幌市立大学看護学部、北海道渡島総合振興局産業振興部林務課、パワープレス株式会社、株式会社ラユエ、株アイ・ビー・エス

技術・研究分野

産学官が連携し、通常は無機質な病室空間に地域材を活用するため、ウッドインフィル「病室ユニット」を開発・試作した。さらにウィルスや細菌、アルコール消毒等に対する木材への影響を調査し、地域材の需要消費拡大・付加価値向上・ブランド化を目指している。木の癒し効果や精神安定効果は病院施設にとって有用なものであり、高齢化を迎える社会背景からもそのニーズは高い。本作品の新規性は改築を必要とせず、ユニットで提供できる点にあり、一般の病院での普及促進の可能性を持っている。導入後のエビデンスの収集にも期待したい。



堀切の家（東京）

桜設計集団一級建築士事務所、
櫻井登志子、藤原恵子、鯉組

建築・空間分野

「地産都消の実践（つくる）」「技術・性能の裏付けを持つ（つかう）」「耐久性確保とメンテナンスの容易性（つなぐ）」をコンセプトとした、木造密集市街地（準防火地域）に建つ木造2階建て住宅で、材をあらわしにしたながらも地震や火事にも負けない設計上の配慮を随所に施している点は社会提案性に優れる。都市部で木造建築物を計画する際のすべてのソリューションを網羅しているお手本のような物件である。材をあらわしにした建物外観や外構は、街にやすらぎを与えることにもつながっている。



**平成28年熊本地震における
木造応急仮設住宅の供給**（熊本）

（公社）日本建築士会連合会、
（一社）木と住まい研究協会

建築・空間分野

被災された方々が安らぎある生活を早く送れるよう、熊本県産の木材を多用した応急仮設住宅を企画し熊本県に提案したのも、地元事業者を斡旋し、材料調達や施工などで地元事業者が連携し、宇城市で60戸を建設した。応急仮設の木造住宅として、普段手に入るもの、地元でつくれるものというコンセプトが素晴らしい、その仕組みと活動実績が高く評価された。3週間という短工期で完成できる点も重要である。災害国・日本における被災地対応と地域材・地域資源の活用の両立という点において、社会性の高い取組である。



大工と組む わが家再生（愛知）

（株）新和建設

コミュニケーション分野

つくり手技術集団が住まい手をエスコートする安心のわが家再生を実現する活動。技術を持つ大工と、地域の優れた木材、システム化された工程・品質管理により均一化した品質で、計画的に木造民家を再生できるビジネスモデルであり、地域特性と100年を超える民家再生、大工のノウハウ導入といった多様な側面を持つ。木造民家の多い地域における空き家問題を未然に防ぐ仕組みを目指している。ストック住宅は社会的課題であり、木造民家をストック化させず、暮らしの質の向上と地域材の利活用を両立させる社会提案性の高さが光る。

奨励賞（審査委員長賞）



「木とくらす」～はたらく、まなぶ～（東京）

（株）内田洋行、（株）良品計画、（有）サンケイ、パワープレイス（株）

コミュニケーション分野

杉本来の特性を生かした心地良いオフィス家具として「働く場」や「学ぶ場」に新しい価値と市場を生み出す。産地に貢献する生産システムを採用し、国産杉の使用用途の拡大に貢献する。



えちごトキめきリゾート雪雪花（新潟）

ICHIBANSEN / nextstations、えちごトキめき鉄道株、（株）天童木工、（株）ビッグウィル、新潟トランス株、（株）ニックス

建築・空間分野

新潟県の観光列車で妙高山や日本海などの絶景を楽しむ。車内エリアごとに杉、樟、桐などを使い分けた。日本最大級の側窓や世界で唯一の前面展望を専有できる個室も備え、五感で楽しめる唯一無二の旅を提供する。



Augmenter（静岡）

（有）豊岡クラフト

木製品分野

0.1mm単位の加工技術と伝統の遠州織物がコラボした木製バック。国産材桜を用いたクラッチバッグ・ハンドバッグはデザインもよく、日常的な使い勝手の良さや洋・和装両方にフィットしそうな意匠性を合わせ持つ。

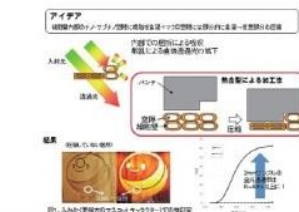


iLignosシステム手帳（愛知）

名古屋木材株

木製品分野

柔軟性を備えた曲がる吉野杉をカバーに用いた木製のシステム手帳。軽量で携帯しやすくその柔らかさと木材本来の質感や風合い、温もりが味わえる。暮らしを彩る木づかいの提案として良質なデザイン。



任意部位の光透過性を向上させた木材（愛媛）

杉元宏行

技術・研究分野

木材の圧密化を制御し光の乱反射を発生させ、任意部位のみ光透過性を向上させる加工技術。LEDやセンサーの配置によって照明やスイッチングの機能を木材に与えるなど、車両や家電、建築への利用が期待できる。



大和棟と大和塀のある古民家（奈良）

末吉高明、株貴志環境企画室、唐内工務店

建築・空間分野

大和棟を持つ江戸時代から残る古民家のリノベーションの提案。地域特有の形式の継承と、奈良県産材を利用しつつ、日本建築の良さ、美しさを伝えている。隣接する寺院や民家と一体になった景観保全も意義深い。



♥ kids furniture (岐阜)

飛騨産業㈱

木製品分野

「圧縮」「曲げ」など本格的な木工技術を生かした椅子で、杉の無垢材だが軽量化と強度を兼ね備え、丸みを帯びたデザインが独特の柔らかさを演出している。人間工学の観点から年齢ごとに最適なサイズを導き出した。



♥ 日本の木と技が創る超軽量家具 (東京)

㈱KOMA

木製品分野

広葉樹の強度と粘度、針葉樹の軽量、柔らかさなどの特性を活かしたハイブリッド木製家具。熟練職人の手仕上げにより、極限まで無駄を削ぎ落とすシャープさと柔らかな温かみが調和したデザインが目を引く。



♥ 雪洞 (長野)

有柳澤木工所

木製品分野

電気スタンドシェードのデザインを踏襲した木製吊り下げ式ランプ。「拭き漆」を模した色と白い和紙のコントラストは和みをもたらす「用の美」。古民家カフェなど現代のライフスタイルへもマッチする魅力があるデザイン。



♥ 「くむんだー」木のジャングルジム (滋賀)

川村克己

木製品分野

子供たちと一緒に組む組み立てる木のジャングルジム。創造と遊びを通して木の良さを感じたり、知らない子ども同士がコミュニケーションし、あと片づけも共同で行なうという気持ちも自然に生まれる木育玩具。



🌐 住まいと暮らしサロン (埼玉)

㈱アキュラホーム、㈱ホルツストラ、河野泰治アトリエ、㈱篠原商店

建築・空間分野

一般流通材と一般加工・施工技術で建てた日本初の中規模3階建て木造建築。空間は美しく仕上がっており、社会提案性の高い取組。地域のイベント空間としても活用され、木材利用の普及啓発の点でも意義がある。



🌐 信州型 木製遮音壁 (長野)

長野県産材販路開拓協議会

木製品分野

長野県のカラマツ材の有効利用を考え、「木が使える所に当たり前に木を使いたい」という想いから生まれた木製遮音壁。高速道路、住宅街や工業団地、保育園の騒音問題など幅広い社会インフラ分野で活用が期待できる。



🌐 授産施設で生産するデザイン性の高い木製品の開発 (北海道)

(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場、札幌市立大学デザイン学部、(福)当麻かたるべの森技術・研究分野

大学・授産施設・公設研究機関の連携で、障がい者が生産に携わることができる、デザイン性の高い木製品を開発した。障がい者の仕事づくりと地域材の有効活用を目的とした、ストーリー性のある取組である。



🌐 組手什協議会による熊本震災支援 (熊本)

組手什おかげまわし協議会、あいちの木で家を造る会、質屋おやじの会、福島県古殿町、登米森林組合、日本の森バイオマスネットワーク

コミュニケーション分野

各地の森林から間伐小径材、製材端材より生産される組手什を生産地8カ所から集荷し震災の避難所へ提供した。短期間で多くの資材を集め、被災地支援と地域材活用の両輪を回した良質な取組である。



🌐 ヤブクグリ (大分)

ヤブクグリ、寶屋、㈱トライ・ウッド、マルゲン㈱

コミュニケーション分野

林業、木材関連からデザイナー、大工、編集者など多彩な専門家の協働による「木」をテーマにしたコミュニティ・プラットフォーム。木製の弁当箱とメニュー開発を同時に進めるなど、地域資源を複合的に組み合わせた点が有効である。

[ウッドデザイン賞 2016 について]

1. 主催等

(1)主催：ウッドデザイン賞運営事務局

【(特)活木活木森ネットワーク、(公社)国土緑化推進機構、(株)ユニバーサルデザイン総合研究所】

(2) 林野庁補助事業

2. 募集期間

2016年6月20日～7月27日 審査料:無料

3. 表彰部門

(1)ライフスタイルデザイン部門 ～木を使って暮らしの質を高めているもの	木を使うことで機能性や利便性を高めている、新しい領域で木の活用が提案されている、消費者に木のある豊かな暮らしを提案している、建築・空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。
(2)ハートフルデザイン部門 ～木を使って人の心と身体を健やかにしているもの	木を使うことで快適性を高めている、五感や感性に働きかける、リラックス効果や健康維持・増進効果がある、建築・空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。
(3)ソーシャルデザイン部門 ～木を使って地域や社会を活性化しているもの	木を使うことで森林や地域の活性化に貢献している、人材を発掘・育成している、普及啓発効果が高い、作り手や担い手のストーリー性を伝えている建築・空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。

4. 賞の構成

最優秀賞（農林水産大臣賞）	1点	本日発表
優秀賞（林野庁長官賞）	3点×3部門	
奨励賞（審査委員長賞）	5点×3部門	
ウッドデザイン賞（入賞）	二次審査を通過したものすべて	11月24日発表分

5. 応募分野

① 建築・空間・建材・部材分野	店舗、施設、住宅、建材、部材等
② 木製品分野	家具、インテリア、日用品、楽器、遊具等
③ コミュニケーション分野	ワークショップ、プロモーション、人材育成、ビジネスモデル等
④ 技術・研究分野	技術、研究、調査、実験住宅、試作品等

6. 応募資格

森林・林業・木材産業関係者、建築・住宅・家具・インテリア産業関係者、設計士・デザイナー・クリエイター、施設・店舗のオーナー、小売・流通事業者、メディアなど、木づかいを推進するすべての方が対象。企業、個人、団体、自治体、学校、研究機関を問いません。

7. 応募～発表・PR までの主な流れ



8. 審査委員会

(★:審査委員長、☆分野長 敬称略)

	★赤池 学(プロジェクトデザイナー、科学技術ジャーナリスト)
〔建築・空間・建材・部材分野〕	隈 研吾 (建築家、東京大学教授) ☆ 腰原 幹雄 (東京大学 生産技術研究所 教授) 鈴木 恵千代 (空間デザイナー) 手塚 由比 (建築家)
〔木製品分野〕	益田 文和 (プロダクトデザイナー) ☆ 末吉 里花 (エシカル協会代表) 高橋 正実 (デザイナー、コンセプター) 三谷 龍二 (木エディター)
〔コミュニケーション分野〕	日比野 克彦 (アーティスト、東京芸術大学 教授) ☆ 戸村 亜紀 (クリエイティブディレクター) 古田 秘馬 (プロジェクトデザイナー) 山崎 亮 (コミュニティデザイナー、東北芸術工科大学 教授)
〔技術・研究分野〕	伊香賀 俊治 (慶應義塾大学大学院 教授) ☆ 相茶 正彦 (木材・バイオマス利用コンサルタント) 青木 謙治 (東京大学大学院 講師) 恒次 祐子 (森林総合研究所 主任研究員)

「ウッドデザイン賞 2016」表彰式・作品展示・シンポジウム等 概要

【1】「ウッドデザイン賞 2016」表彰式

●日時:	平成 28 年 12 月 8 日(木) 13:30~14 :15		
●会場:	東京ビッグサイト(東京都江東区有明 3-11-1) 東 2 ホール エコプロ 2016 イベントステージ		
●プログラム:	13:30~	主催者挨拶	
	13:35~	来賓挨拶	
	13:40~	表彰式	農林水産大臣賞(最優秀賞) 林野庁長官賞(優秀賞)(3 部門) 審査委員長賞(奨励賞)(3 部門) 受賞代表者 コメント 審査委員長 講評 ほか
	14:15	終了	

【2】シンポジウム・交流会

●日時:	平成 28 年 12 月 8 日(木) 15:00~17:45		
●会場:	東京ビッグサイト(東京都江東区有明 3-11-1) レセプションホール B		
●プログラム	15:00~	開会挨拶	(公社)国土緑化推進機構
	15:05~	来賓挨拶	林野庁、サポート連絡会代表
	15:10~	「ウッドデザイン賞 2016」概要説明	
	15:20~	■第一部:「ウッドデザイン賞受賞作品に見る、これからの木づかい」	
		発表者(予定):	最優秀賞受賞者(1団体)優秀賞受賞者(各部門1団体)
		モデレーター	末吉里花氏
	16:15~	■第二部:「ウッドデザイン賞が拓く、社会価値創造と新たなビジネス」	
		パネラー(予定):	赤池学氏、手塚由比氏、益田文和氏、山崎亮氏、伊香賀俊治氏
		モデレーター:	末吉里花氏
	16:55~	閉会挨拶	(特)活木活木森ネットワーク
	17:00~	交流会	(17:45 終了)
●登壇者			
赤池 学	プロジェクトデザイナー、科学技術ジャーナリスト、審査委員長		
益田 文和	プロダクトデザイナー、木製品分野 分野長		
手塚 由比	建築家、建築・空間・建材・部材分野審査委員		
山崎 亮	コミュニティデザイナー、東北芸術工科大学 教授、コミュニケーション分野審査委員		
伊香賀 俊治	慶応義塾大学大学院 教授、技術・研究分野 分野長		
末吉里花	(モデレーター)エンカル協会代表、木製品分野審査委員		

【3】「ウッドデザイン賞 2016」作品展示 (特設コーナー)

●期間:	平成 28 年 12 月 8 日(木)~12 月 10 日(土) 10:00~18:00 ※12 月 10 日(土)のみ 17:00 まで		
●会場:	「東京ビッグサイト」東展示場(東京都江東区有明 3-11-1) エコプロ 2016 「環境とエネルギーの未来展」内(東 1 ホール) 「ウッドデザイン賞」特設ブース(小間番号 F-01)		
●内容:	<p>○「ウッドデザイン賞 2016」概要紹介、審査委員による動画メッセージ</p> <p>○「ウッドデザイン賞 2016」受賞作品展示(パネル、映像など 251 点全点)</p> <p>○ライフスタイル提案ゾーン(受賞作品をコーディネートした暮らしのシーンを展示)</p> <p>○「ミス日本みどりの女神」(農林水産省「みどりの広報大使」と受賞者の記念撮影 (平成 28 年 12 月 8 日(木) 10:00~12:00)</p> <p>■『森とツナガル「木のある暮らし」のススメ』トークショー 林 眞理子さん(日本インテリアコーディネーター協会理事)はじめ、まことさん(シャ乱 Q)、高橋 愛さん(モーニング娘。OG)とウッドデザイン賞やライフスタイル展示について語り合います。 日時:12 月 10 日(土)14:30~15:15 場所:東 2 ホール エコプロ 2016 イベントステージ</p>		